

初任者研修 若手教員による公開授業参観及び授業研究会 ～「自ら学び続け 学び合う子供」を育む授業～

6月から7月にかけて、西部教育事務所による初任者研修公開授業参観及び授業研究会を開催しました。授業をされた先生に質問したり、グループで熱心に話し合ったりと実のある研修となりました。

授業では、「自ら学び続け 学び合う子供」を育むための、様々な手立てや「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していく場面も見られました。



6月12日(月) 武雄市立御船が丘小学校 坂口 知美 教諭	6月19日(月) 鹿島市立鹿島小学校 廣田 あゆみ 教諭	7月31日(月) 太良町立大浦中学校 橋本 晃佑 教諭
理科 「植物の花のつくり」	算数科 「垂直・平行を使ってきれいな模様 のしおりを作ろう」	理科 「化学変化と原子・分子」
具体的な手立て		
☆導入部分では、前時の記録写真を電子黒板で視覚的に提示し、子どもの振り返りを活用する。 ☆活動の選択肢を増やしたり、個に応じて思考する時間を十分に確保したりする。	☆子どもの発言をもとに、めあてを立てる。 ☆垂直や平行について体を使って表現する場面を設定する。 ☆振り返りを書く際の視点を明確にするため、振り返りの前に本時の学習のキーワードを見童と共有する。	☆実験の手順についての理解を助けるために動画を活用する。 ☆思考を助けるためにヒントカードを準備する。 ☆話し合う活動の際には、理由を問うたり、生徒の思考をゆさぶる発問をしたりしてコーディネートする。
振り返りアンケートより		
○授業の流れを可視化することで、こんなに分かりやすくするものだと思います。 ○ICTの使い方について悩んでいました。ICTを効果的(共有化を図る、活動の選択肢を増やす)に活用し、子どもが主体となるような授業を行っていきたいと思いました。	○子どもを待たせる時間を少なくするために、テンポよく指示を出されていました。 ○単元のゴールを明確にすることで、学習意欲につながることを感じました。 ○学習規律が整っており、子どもたちが安心して授業に取り組めていました。	○授業の流れや発問の仕方、ICT活用等を学ぶことができました。 ○指示が明確で、取り組む活動が分かりやすいと思いました。 ○ワークシートは、考えをまとめやすくする工夫(書き出しやヒント)がなされており、どの生徒も思考している姿が見られました。

最後に、今回、素晴らしい公開授業を提供していただいた3名の先生方、関係学校の先生方に心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

「自ら学び続け学び合う子供」を育むために、日々の教育活動の中で意識し、取り組んでもらいたいことをガイドブックとしてまとめています。「別冊資料」では、【「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実】【指導案作成】について掲載しています。ガイドブックは、西部教育事務所HPに掲載しております。日々の教育活動に御活用ください。